

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2019年3月11日

事業所名 : 空の鳥幼稚園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	狭さを感じる場合は棚や机の位置を工夫してスペースを少しでも広く確保している。 安全には工夫されている。せまいと感じる時、年もあります。	次年度に建替えを行い、施設の充実を図る
	2	職員の配置数は適切である	6	1	あと1~2名いれば、職員の有給なども取りやすく、働きやすい職場になるのではないかと思います。 休みが取りたい!!ということではないのですが、心のゆとりを作りだす1つの方法だと思っています。 もう一人いたらと思う時はあります。 人がいればいいというわけではないのですが、色々工夫を下さってはいけるが落ち着かないことが多かった。連携の大事さを感じ、担任間での話はできていたと思う。 適切でない日もあつたりしますが、割りに合っているようなので。 日々調整してくださっているので、適切であると思います。	次年度、保育士2名と看護師1名を採用予定
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	4	所々、絵があつたり少しだけ斜面ぎみになっていたりする所はあるが、室内は大丈夫だと思う。 休みの職員が重なっている日の場合は少し大変さを感じるがあるので、クラス間の臨機応変な連携が重要になる。 クラスによっては、通路など段差もあり使いづらと思います。できるだけ空間が広く感じられる様に机などは端によせ、オルソーも必要以外は老化に置いている。 バリアフリー化されていないが少しの段差などを上手く利用して身体作りができればと考えている。 ◎に分かりやすい空間作りは心がけているが細かな部分には課題があると思う。 室内はよいと思うが、テラス、入口、園庭への導線、気をつけて通るようにしている。	次年度、建替えを行い、バリアフリー化を行う

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		心がけています。そうなるように努めてます。どのような設定がいいか、話をすすめています。幼児の室内は暑すぎる＆寒すぎる日もあって体温調節が苦手な子に配慮しています。	今後も、毎日の清掃に励んでいきます
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1		園長との個別懇談により、振り返りを実施している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		今年から行っていると思う。	継続実施していく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	5	HPはない。ホームページはまだありません。ホームページ…まだないのでした…?今年度から開設します。	HPを開設した
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5	今後行う予定なのか!?	再来年度に行う予定
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		年間計画をたて、職員一人一人が研修の機会を持っている。全体で共有化している。学ぶ時間を頂けていると思います!	継続実施していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		より良くなるよう努力中です。アセスメントはしているが、アセスメントシートの活用はまだまだかもしれません。	継続実施していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			継続実施していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			継続実施していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		計画に沿った支援を出来るように心がけているが細かな振り返りがなかなか出来ていない現状。	継続実施していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		なるべくそうできるように話をしている。	継続実施していく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		なるべくそうできるように話をしている。	継続実施していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10			継続実施していく

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	前日やその都度、療育に関してのこと、保護者の困り感など共有している。必要に応じて会議を開いている。 必要に応じてしている。簡単な打ち合わせはしているが、十分な時間がない現状ではある。 ◎の様子に合わせすすめるため、声を掛け合うようにはしている。できている日とそうでない日があります。	次年度より、療育時間の見直しを行い、クラス・部署会議を定期的開催できるようにしていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	(毎日必ずという事は)打ち合わせの様な形では中々出来ていない。その日の◎の様子で「こんなことがあったね」と簡単な会話等はよく行っている。少しの時間でも子どもについて話す時間を作る様にしている。 必要に応じてしている。振り返りを毎日行うことは難しいが、気付いたことは伝え合うようにクラス間で工夫していたり、クラス会議を設けている。 ◎の様子により行っている。できている日とそうでない日があります。	次年度より、療育時間の見直しを行い、クラス・部署会議を定期的開催できるようにしていく
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	行事前等はその日中に書けないこともあるが、出来るだけ記入しようとは心掛けている。徹底は出来ていないかもしれないが、改善できるようにするための話し合いは大切にしている。 必要に応じてしている。デイリーやモニタリングシートにて支援の見直しや◎の成長を記録できるようにしている。 日による…時間(記録の)を作ることを考え中です。できている日とそうでない日があります。	継続実施していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			継続実施していく
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			継続実施していく	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			継続実施していく	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	1	とても丁寧に伝え合っていると思います。	継続実施していく	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10			継続実施していく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1		継続実施していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	相互理解の難しさを感じますが、できるだけ伝えていこうと思います。次年度、引き継ぎを必ず行っているののでできていると思います。	継続実施していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1		継続実施していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	1	定期的と一緒に活動したりしている。併設の保育園とは活動の機会があるけど他はまだまだ…。	継続実施していく
	29	(自立支援)協議会児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	1		継続実施していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			継続実施していく
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4	対応力の向上?寄りそっていこうと常に思っています。プログラムとしては、支援を行っていないが個々の困り感に寄り添う支援は行っている。	懇談時に、保護者の思いを丁寧に聴き取りながら、支援を行っていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			継続実施していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			継続実施していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			継続実施していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10			継続実施していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			継続実施していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			継続実施していく

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9			継続実施していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		毎日のお帳面でのやりとりできていると思います。	継続実施していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10			継続実施していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1		マニュアルの活用を意識して行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		南海トラフなどのように大型地震があったときの対策・心がまえ/児童分の食料・水分の確保、非常電源などは必要だと思う。	継続実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	10		マニュアル作成していません。	継続実施していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		マニュアル作成していません。	継続実施していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			継続実施していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			継続実施していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10			継続実施していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。